

文芸ひろば

詠歌の紹介

千代田俳句同好会

一枚の畑の中の豆の花
黒松のうねり大きく春の風
下萌や遊具淋しく横たはる
梅白く老木いまだ力あり
飛び石に置いたるような玉椿

紫陽花俳句会

雨あがり祠のそばに花馬酔木
児等の声無き校庭に燕飛ぶ
自肅する和むたたきの端居かな
老木のいま香り立つ推の花

出島短歌会

五月晴 友の作りし「どちおどめ」土の臭いのひそやかにする
ザリザリと背丈ばかりの棒引きて七十才のガキ大将
おもむきなる凶事はいずこ新型コロナウィルスめくるめく闇
庭隅に見出し小さきあじさいはつゆ草の中つやめきて咲く

投稿作品

「ありがと」ただの五文字が何故言いぬ親と云う字が邪魔をするから
呼ぶ声に飛び立ち降りて餌を食う二羽の白鳥に胸おどる
鎮まればゆかん瀬戸内周遊へ籠れる日々への想い翼に
楚々と咲く帝夷に雲さむ寒と春の一日暮れなむ
コロナ軍常陸国に潜伏し二波の奇襲に息つく予感
シア達ゲートボールに夢中だ友はゴルフ夢中だね
健やかに雨引山の樂法寺に祈る夫婦の姿美わし
ロープウェイ眼下見下ろし何思ふ
母在りし日のこと咲けりクレマチス
短夜に久しく会はず母の影

大塚隼人
飯沼礼子
大西周
加藤貞江
神原清志

飯田 功
久保庭悦子
田能幸雄
萩原とし子

仲谷香代子
薬師寺玲子
岡田恭子
名倉観子

菅谷 味子
齊藤勝広
中島良平
沼野はつ子
近藤善康
横井正子
石塚 清
宮本てるみ
竹村啓子
いだいさき

▶ 投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。7月3日(金)までに情報広報課(〒300-0192 大和田 562 番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。
また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。

健康・健幸
応援宣言!

かすみがうら

健康増進コラム

健康まちづくり宣言「健康・健幸な人生を送るシリーズ」⑬

食中毒予防の3原則を守ろう

6月に入り、気温が上がリ、湿度も上がり、やがて梅雨から夏場になります。食中毒が起こりやすいのは、これからの季節です。夏場は菌が繁殖しやすいだけでなく、身体の抵抗力・免疫力も落ちてきます。食中毒を防ぐため、3つの原則を改めておさらいしておきましょう。

1. 食べない!

食中毒を起こさないためには、食中毒の原因となる細菌やウイルス、有害物質などを、食品や調理器具につけないことが大切です。

手や調理器具を清潔に保ち、また、菌のついた食品から他の食品の二次感染を防ぐためには、包丁やまな板は水で流して乾いたふきんで拭き、ふきんは頻繁に水洗いしてください。



2. 増やさない!

この時期は、屋外だけでなく、屋内も高温多湿になりやすいです。菌を増やさないためには、食品は室温で置かず、冷蔵庫で管理するのがポイントです。しか

し、冷蔵庫を過信するのも禁物です。夏場は冷蔵庫の温度も上がりやすくなっています。冷蔵庫の頻繁な開閉、食品の詰め込み過ぎに注意しましょう。

3. 殺菌する!

梅雨の時期には、生ものをできるだけ控え、過熱したものを食べるようにしましょう。また、調理器具も熱湯消毒してから使用してください。なお、冷凍・冷蔵による殺菌効果は期待できません。保存した食品は早めに、再加熱して食べるようにしましょう。



その他には、肉・魚・野菜などの食材は別々に保存し、調理の際には別々に洗うことも大切です。また、臭みや傷みが気になる食品は口にしないなども食中毒予防の重要なポイントです。

以上のことに気を付けて食中毒を予防しましょう。

健康づくり推進課

☎029(8008)2312



まちのわだい



友達との再会で笑顔

新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業が続く中、5月20日から6月5日まで市内小・中学校で分散登校を行いました。分散登校は、2つのグループに分け、隔日登校と、午前・午後に分けた登校で、3密(密集、密接、密閉)を避けて実施されました。

先生たちは、児童や生徒たちが安心して学校生活を送れるように、校内のさまざまな場所で、除菌を行うなど感染症対策を行っていました。

また、児童や生徒たちは、友達や先生との久しぶりの再会に、自然と笑顔があふれ、「先生、おはようございます」と元気よくあいさつする姿が見られました。

6月8日からは全面再開となり、少しずつ学校に賑やかさと笑顔が戻ってきました。待ちに待った学校生活、楽しい思い出が作られることでしょう。



千代田中学校



霞ヶ浦南小学校



↓ 3月30日の表彰式の様子 最優秀賞を受賞した加納政忠さん(左)



お家で作ろう! みんなの"かすみがうら" 分も"かすみがうら"になる

5月31日まで実施された「お家で作ろう! みんなの"かすみがうら"」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛している皆さんが、自宅で楽しむ、市公式シティプロモーションLINE(ライン)を利用したイベントです。今回は、イラストや編み物、コスプレなど手の込んだ数多くの作品が投稿されました。次回のキャンペーンにもご期待ください。



友達追加QRコード(LINE)



↑ 手作りのコスチュームに变身(最優秀賞作品)



新広域ごみ処理施設の愛称が決定

称は「霞台クリーンセンターみらい」

昨年の11月から、新広域ごみ処理施設の愛称を募集し、200点以上の応募作品の中から、市内在住の加納政忠さんの作品「霞台クリーンセンターみらい」が最優秀賞を受賞しました。愛称の由来は、地域のごみ処理を担っていく素敵な施設になってほしいとの想いから、構成市町である小美玉市の「み」、かすみがうら市の「ら」、石岡市・茨城町の「い」を取り、「みらい」と名付けられました。「霞台クリーンセンターみらい」は令和3年4月から本稼働に向けて、現在準備が進められています。